



「出会い・ふれあい・学び愛」～日土小学校をしょうかいしよう 第2回校舎学習会～

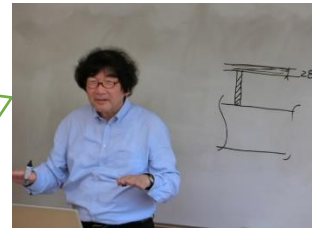
第2回校舎学習会では、西校舎について学習しました。今回は、西校舎を設計された武智和臣氏を講師にお招きして、西校舎に込めた設計者の思いを語っていただきました。

西校舎の設計においては、松村正恒市の設計思想、東校舎、中校舎との調和を考え、モダニズムの原点に立ち返り、子どもの視点に立った空間造りを引き継ぐことを考えられたそうです。西校舎建築の過程を写真を見ながらお話していただき、「毎日生活しているけれど気がつかなかった。知らなかった」という発見がたくさんありました。

子どものための学校を追求し、「自然で、簡素で静寂がいい」という松村正恒氏の思いを受け継いだ西校舎で、子どもたちは、今日も元気に学んでいます。



- 西校舎の特徴は、
- 東、中校舎との調和
 - 地元の木材を利用
 - 多様な学習空間
 - 室内環境の様々な工夫
 - 今後の修理を考えた手すり付きメンテナンスバルコニーなどです。



西校舎の階段も歩きやすいよ。

階段は、東、中校舎と同じ高さにしてあるんだよ。



夏には川からの涼しい風が入るように、「欄間」も開け閉めが簡単にできるようにオペレーターをつけているんだよ。



どの窓も広くて、強化ペアガラスが使われていることが分かった。夏は涼しく、冬は暖かい工夫がしてあるんだな。



中校舎は2階の音が1階によく響いたけど、西校舎では、音を吸収するつくりになっていたのか。

